

実践しよう!

日頃からできる3Rについて考えてみよう!
下記のシートを利用して計画を立てて実践してみよう!

| いつ | 何を | どうする? | 3Rの区分 | 結果 |
|--------|----------------|-------|-------|----|
| (例) 日々 | 食べ残しや、材料の使い残しを | 減らす | リデュース | ○ |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

広めよう!

日頃からできる3Rについて考えてみよう!
下記のシートを利用して周りの人に日頃からできる3Rを広めよう!

| 誰に | いつ | 何は | ~できるよ | 3Rの区分 |
|----------|------|------------|----------------|-------|
| (例) ○○さん | 季節毎に | いらなくなった衣料は | リサイクルショップで売れるよ | リユース |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |



学ぼう！

そもそもごみって何だろう？ **ごみの特徴**

- 家庭や学校、まちなかなど、生活のさまざまな場面で発生する
- いらないもの、じやまなもの
- さまざまな種類（紙くず、生ごみ、金属類、電化製品など）がある

ごみにはお金がかかる



高岡市内から、平成27年度に出されたごみは、約63,000トン。焼却や資源

化処理に、約**15億円**かかりました。1人1日当たり55グラム（およそ卵1個分）ごみを減らせば、年間約3,500トンの減、約**1億円**節約できます。

ごみを減らす**リデュース**と、繰り返し使う**リユース**が大切です。



3Rとは、循環型社会形成のキーワードです。

ごみを「ごみ」にしない！

「捨てればごみ、生かせば資源」という言葉を知っていますか？

家庭から出されるごみは、分別のルールに従って分けられ、新しい資源に生まれ変わります。ごみを資源として再利用する**リサイクル**が大切です。

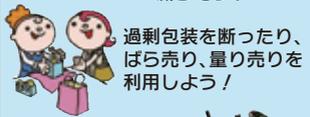
優先順位 1位

Reduce リデュース

ごみとなるものを減らすこと



買い物にはマイバックをしよう！
食べ残しや材料の使い残しを減らそう！



過剰包装を断ったり、ばら売り、量り売りを利用しよう！

生ごみは捨てる前に水切りを！

優先順位 2位

Reuse リユース

ごみとせず繰り返し使うこと



修理して使おう！

リサイクルショップを利用しよう！

優先順位 3位

Recycle リサイクル

ごみを資源として再利用すること



分別！
ごみは、分けよう！

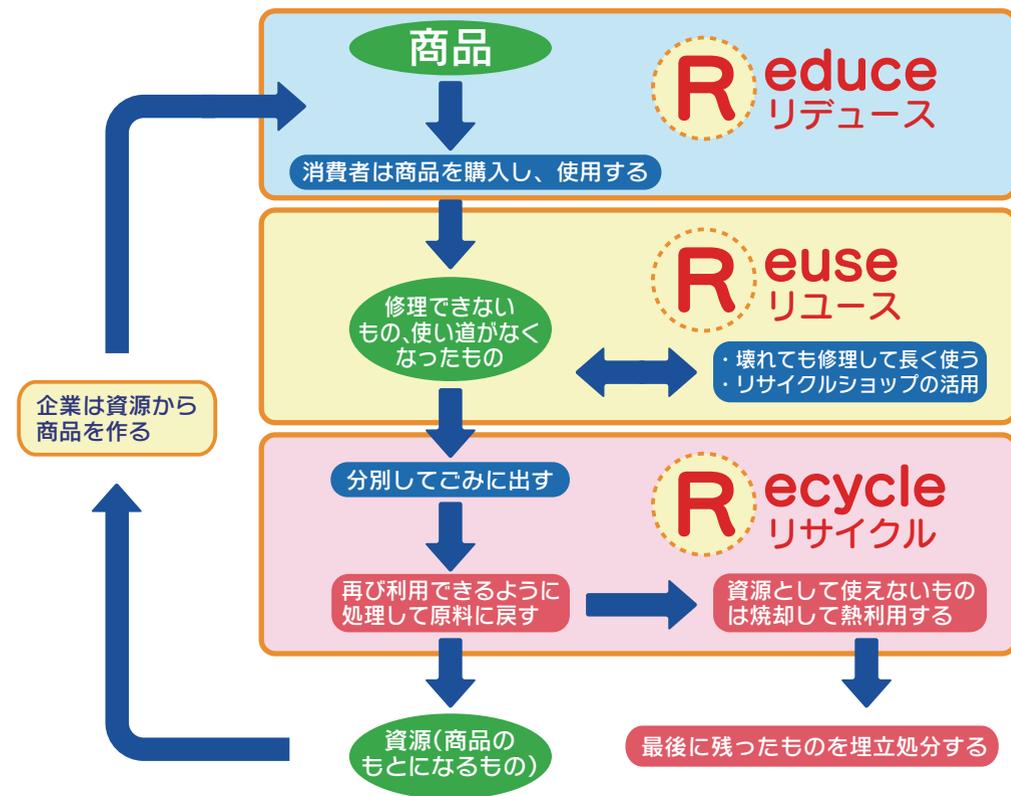
資源再生品
集団回収へ
出そう！

考えよう！

循環型社会を作ろう！

これまで、私たちはものを大量に生産し、消費し廃棄してきました。そのため、地球に大きな負担をかけてきました。焼却するごみの量が増えれば、二酸化炭素発生量も増えます。ごみの埋立処分場は埋め立てできる容量が少なくなっています。

今、求められているのが「循環型社会」への転換です。これまで「ごみ」として捨ててしまっていたものも、「資源」として繰り返し使っていくことが必要です。



ルールを守ろう！

不法投棄…決められた場所以外に勝手にごみを捨てる行為

野焼き…適法な焼却施設以外で、ごみを燃やすこと

野焼きは、煙や悪臭の発生など近隣への迷惑になります。

※違反した場合は、**5年以下の懲役**もしくは**1千万円以下の罰金**が設けられています。循環型社会をつくるためにも、ルールに従って適切に処理することが大切です。